

ブロック推薦演題プログラム

症例報告

(第1会場 1003 13:10～14:40)

座長 市立吹田市民病院 加納 一則
関西福祉科学大学 三谷 保弘

1. 歩行・ジョギング動作の違いに着目し間欠的症状の改善に至った腰部脊柱管狭窄症の一症例

南河内ブロック 島田病院 森内 諒介

2. 腰椎圧迫骨折を呈した1症例に対する課題指向型アプローチ
～家屋調査から見えてきた課題を中心に～

中河内ブロック 池田病院 高橋 昇嗣

3. 感染性心内膜炎に多発性脳梗塞・脳出血を合併した症例に対する急性期理学療法

豊能ブロック 国立循環器病研究センター 鎌田 将星

4. 左被殻出血にて右下肢重度感覚障害を呈したが、発症後6週間で社会復帰が可能となった症例

大阪市北ブロック 済生会中津病院 坂上 和孝

5. 結帯動作改善に着目した腱板修復術症例

泉州ブロック 葛城病院 藤原 梨菜

6. 股関節唇損傷術後、荷重下でのアプローチによりインピンジメントが改善した一症例

三島ブロック 第一東和会病院 吉村 龍人

7. 急性期人工呼吸器患者の理学療法 ～多職種連携によりADL改善を認めた1症例～

堺市ブロック ベルランド総合病院 葛本 由貴

8. 出血性脳幹部海綿状血管腫により異常筋緊張を認めた一症例

大阪市南ブロック 富永病院 山中 雄翔

9. パーキンソン病患者に対する認知神経リハビリテーションの試み ～歩行に着目して～

北河内ブロック 摂南総合病院 足立 淳二